

# HU-style

08 | 2007  
Jan.

 広島大学

特集

あなたの「**であい**」教えてください。

あの人に会いたい

バレーボール選手

**増野 彰**

# 増

あの人に会いたい  
AKIRA MASUNO

堺ブレイザーズ  
VOLLEYBALL PLAYER

# 野

プロフェッショナルとして、今できる仕事を全力で。

# 彰

## PROFILE

身長・体重/170cm・66kg  
ポジション/リベロ  
1978年7月6日生まれ。広島県出身。  
広島大学教育学部卒業。在学中は、体育会/バレーボール部でアタッカーとして活躍。99年、全日本バレーボール学生選抜東西対抗戦に出場し、現・堺ブレイザーズ監督の中垣内祐一氏の目にとまり、卒業後にリベロとして入団。05年、第12回Vリーグで優勝し、ベストリベロ賞を受賞。06年、ワールドリーグに全日本メンバーとして出場。

堺ブレイザーズHP <http://www.blazers.gr.jp/>

## リベロというポジションがなければ、今の僕はいなかった

バレーボールを始めたのは小学生のとき。その頃はプロの選手になるのが夢でした。でも、広島大学のバレー部に入部した時点では、身長も170cmと高くないし、Vリーグに入れるなんて思ってなかったですね。卒業後は体育教師になって、大好きなバレーを子どもたちに教えてあげたいと考えていました。

Vリーグ選手への道が開けたのは、大学2年生のときにリベロというレシーブ専門のポジションができてから。そのときは、僕のように背の低い選手でも生き残れるなって思う程度で、リベロをやろうとは思わなかった。当時はアタッカーでしたから。転機となったのは、3年生のとき。学生選抜東西対抗戦に西日本のリベロとして選出され、現・堺ブレイザーズ監督の中垣内さんから誘いを受けたことですね。

子どもの頃からの夢が、夢のままで終わろうとしていたときに転がり込んできたチャンス。「リベロでもいいから、Vリーガーになれるならやってみたい」そう思って挑戦しました。



## Vリーグで優勝して、初めて自分に自信が持てた

入団当初は「本当にやっているのかな」ってすごく不安でした。大学とVリーグって全然レベルが違うんです。パワーに戦術に高さ、どれをとっても要求されるレベルが高く、慣れるまで相当苦労しました。早くチームメイトのレベルに追いつこうと、他の選手の何倍もひたすら練習しましたね。努力すれば、ある程度のレベルまではいけます。でも、リベロはレシーブができて当たり前。レシーブが上手い人がやるポジションですから、もうワンランク上のレベルにあがらないと、ポジションも取れないし、仕事もこなせないんです。そのためには、結果を出すしかありませんが、あえて結果を求めず、一つ一つのプレーに集中して取り組むよう心がけました。

去年、入団5年目にして初めてVリーグ優勝を経験。それまでは、自分では納得できないところがありましたが、優勝して初めて自分に自信が持てるようになりました。

リベロの醍醐味は「ここで決められたら試合終了」



## どこでプレーしても、自分のやるべきことは一つ

昨年は、全日本の選手として選ばれました。今年もまた、全日本のリベロとしてプレーできるようにがんばります。チャンスがあれば、オリンピックも目指したいですね。

全日本のときは「日の丸を背負って」という意識がありましたが、全日本であれVリーグであれ、やらなければならない仕事は変わらない。常に平常心を心がけ、自分のやれることに全力を尽くすだけです。

## 取材を終えて

「プロ」という印象を強く受けました。日々の生活に対する心がけ、普段の練習でも真摯にバレーと向き合っている姿勢、バレーという仕事のプロとしての自覚。一つのこと集中し、継続することで得られる風格のようなものを感じました。将来的には自分もこうありたいです。

取材・記事/総合科学部3年 森尾 洋一

人一倍努力家の増野さん。高い集中力を要するリベロをこなす精神力は、努力の賜なんだと感じました。「学生時代は、教師となって子どもにバレーを教えたかった」というお話から、プロになれなくてもずっとバレーに関わりたいたいという熱い想いが伝わってきました。

取材/生物生産学部2年 加藤 光子





# あなたの「であい」教えてください。

あの「であい」があるから今がある——人生を変えるようなステキな「であい」、あなたもしてみませんか?  
感動した言葉からエッ!?と驚くグッズまで、みんなの「であい」をワタシ、HUが一挙に紹介しちゃおうよ!



## アクリル水彩

小林 未奈さん 経済学部2年  
小さいころから絵を見るのも描くのも好き! 本格的に始めたのは大学に入ってから。細かい部分を描いていると、めんどくさくなって「もういや」と思うこともあるけど、仕上がったときの達成感なんともいえません。自分の想いが形になるうれしさ! 将来は絵に関係した職業に就きたいですね。

第52回中・四国国立大学連合美術展覧会出品作品「かまくら」



## ラクロス

長尾 あきなさん 教育学部3年  
大学から始めたラクロス。うまくできるようになるまでは「やめようかな」と思った時期もありました。でも、やっていくうちにどんどん楽しくなって! ここまで続けてこれたのは、なんでも話せる大好きな仲間がいたから。ラクロス部は、私にとって大学生活のメイン。一番の財産です。みんな、ありがとう!! これからもずっとよろしくね☆

## サッカー

重田 広志さん 経済学部1年  
中学時代、広島県総体出場のかかった大一番。後半残り時間は1分、点は1-2のピンチ。もはや絶望的でした。審判が試合終了のホイッスルを口に当てたそのとき、僕に絶妙のパスが! ゴールまで25m、夢中でシュート。気がつくやうに仲間と抱き合っている。僕。「最後まであきらめない」と学んだ奇跡の同点ゴールでした。「あのシュートが決まっていなかったら…」今でもふと考えますね。



ゴオオオール!!



キャプテン翼ばりだね。劇的シュート!!

## コブダイ

越智 雄一郎さん 生物園科学研究科博士課程前期1年

どの魚を研究するか悩んでいた「コブダイはどう?」と先生。コブダイの生態はいまだに謎だらけで研究者も少ない。「人がやっていることをやるのは好きじゃない。オレが謎を解明してやる!」と思い決定。群れを作らず見つけにくいのでサンプリングに苦労するけど、釣りが大好きな自分にはそれすら楽しい時間。大きなものは体長1m以上。瀬戸内海でこれだけ大きくなる魚ってほとんどいません。食べ物や周辺環境の影響も受けるので、水質汚染など環境問題についても考えるきっかけに。成果を学会で発表し、その場で「すごいね」だけでは終わらせたくない。研究者だけでなく、みんなの興味を惹きつける研究にしたいですね。



【コブダイ】  
別名:カンダイ スズキ目ベラ科  
下北半島・佐渡島以南、朝鮮半島・南シナ海に分布  
成長したオスには、頭に大きなコブがあるのが特徴

## ある少年

榎 久仁裕さん  
社会科学部研究科博士課程前期2年

私が、裁判所書記官として働いていたころの話です。今でも時折思い出します。当時、私は27歳。調停の立ち会いの仕事をしていました。ある日、50歳代の女性が小学4年生くらいの男の子を連れて相談に来られました。その子を見るからに賢そうで、騒ぐこともなく受付の書記官と母親のやりとりを一生懸命聞いていました。相談内容は父親の借金。受付の書記官が子どもの存在を気にしている様子だったので、私はその子を持って外へ。売店でジュースを買い、飲みながら話をしました。「お母さんのこと心配かい?」と尋ねると「うん」という返事。他の小学生は友達と遊んでいる時間。私はやりきれなくなりました。「両親の身になにか起こるんじゃないか。お母さんと僕は離れ離れになるんじゃないか?」そんなことを心配している様子が痛いほど伝わってきます。この件で、親子が別れて暮らすことにはならないだろうと思った私は「大丈夫。君とお母さんが離れることはないよ」と声をかけました。すると、その一言で少年の顔がぱっと笑顔に。まるで映画かドラマの一場面のように、今も私の記憶に強く残っています。彼は今、30歳前後。きっと親孝行で立派な大人になっているはず。現在私は、塾を運営しながら大学院で学んでいます。子どもはみんな、なにかしら不安を抱えているもの。その心をうまく引き出し、塾での指導にいかしています。



## けん玉

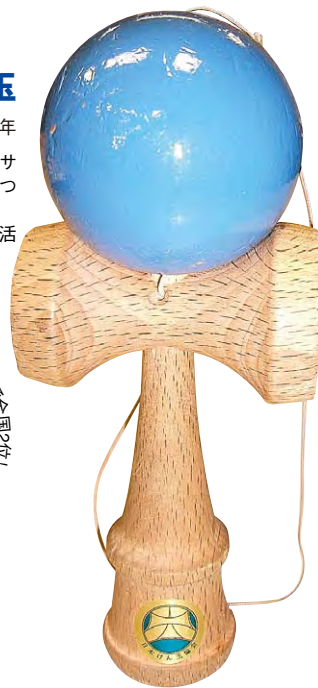
八汐 憲恭さん 工学部3年

高3の冬、受験勉強の息抜きに始めました。無事大卒に入り、けん玉サークルがあると知ってびっくり。自分の特技が欲しかったのと、これひとつで国内外のいろんな人とつながることができるのとわかり、さっそく入部! おかげで集中力がつき、視野も広がりました。もはや、けん玉は僕の生活の一部ですね。



こ、この技は?! 奥義、つるし一回転飛行機!

「全日本けん玉道もしかめ選手権」で全国2位!



モデル立ちが決まってるね!

## フラワーQueen

新井 さやかさん 文学部4年

手を振り、声をかけてくれた何千何万という人々。指導していただいた主催者の方々、同じQueen仲間。本当に多くの人たちと出会えました。人と接するのが苦手で自分の殻に閉じこもりがちだった私は、フラワーQueenに選ばれたことで人の輪が広がる喜びを知り、一回り大きくなった気がします。卒業後はアナウンサーに。新たな出会いが楽しみです。  
※フラワーQueen…広島市内で開催されるイベント「フラワーフェスティバル」の事前キャンペーンや各種イベントを盛り上げる花の使節



## 外国人のルームメイト

中川 洋通さん 大学院財務グループ

19歳で中国へ2か月間語学留学したときの寮での出会い。韓国人の彼との共通言語はカタコトの中国語のみ。不安だらけの共同生活でしたが、そのうちにすっかり打ち解けました。ある日、僕が落ち込んでいると彼は黙って一晩中そばに。心が通じ合った瞬間でしたね。言語や文化の違いを乗り越え理解し合える存在。考え方・価値観がガラリと変わりました。



## MUSIC

アカベラサークル「intime」

「intime」は「仲良し」という意味。みんな音楽が大好きなんです。普段は別々の音楽サークルで活動していますが「アカベラもやってみよう!」と2年前に結成。学祭や卒業式で歌ったり、クリスマスソングをジャズ風にアレンジしたり。やりたいことが自由なので、フレッシュな気分で取り組めます。音楽の幅も広がりました!



## カメラ

渡邊 克晃さん 理学研究科博士課程後期3年

3年生のとき、友人と3人で屋久島に旅行したのがきっかけで写真を撮るようになりました。写真を通してたくさんの出会いをくださった神様に感謝します。ファインダーを覗く左目、瞬間のシャッター音を聴く耳、ひんやりとしたカメラを支える手、一つ一つが幸せでした。



富士フイルドがロシアン新年2006受賞!!



## BOOK

金山 浩輝さん 工学部2年

きっかけは、村上春樹の「ノルウェイの森」。主人公の趣味は、小説「グレート・ギャツビー」を読むことでした。「そんなに面白いの?」と興味を引かれて読んでみると、深く心に残る名作! まずまず読書が好きになりました。主人公の隣の家に住む大金持ち、ジェイ・ギャツビーの凋落が描かれています。ぜひ読んでみてください!

「グレート・ギャツビー」  
フィッツジェラルド著 野崎孝訳 新潮文庫

80年以上読み継がれている名作だね!

# 出会い・出遭い・出会い——人生をかえたエピソード集



自慢のマスタングと共に。1968年、アメリカのミルウォーキーにて



**クルマ**  
牟田 泰三さん 広島大学長

高級車や大型車には興味がないんです。ちょっと小さ目で自分の体のように自由自在に乗り回せて、パワーは十分！ そういう車が好きですね。30歳でアメリカへ留学したとき、初めて車を買いました。車種はマスタング。見た目がカッコよくて、当時、若者の間で大人気！ 嬉しくてアメリカ大陸を2回も横断しましたよ(笑)。スタイルは今でも一番好きですね。いろんな車に乗っていると、だんだん欲が出てくる。280馬力の車にも乗りました。現在の愛車はマツダのRX-8(オートマ)。最初はセールスの人に「マニュアルしか乗らないから」と断っていたんですが、試しに乗ってみると、この車には多彩な機能がついていておもしろい。我が家の愛車となって早3年です。車に乗っている時は、日常を忘れてスピードや加速感、自分の限界能力を試せる…そこが魅力ですね。もちろん交通規則は守っています。学生のみなさんもスピードの出しすぎには注意し、交通規則を守って楽しみましょう！

アメリカ横断って簡単に言うけど5,000kmDE・SU・YO!



**雪**  
サンディヤさん 国際協力研究科博士課程前期1年

母国スリランカの平均気温は年間25～27度。日本に来て、生まれて初めて雪を見ました！ きれいすぎて本当にびっくり！ 思わず外へ飛び出して、友達と遊びまわりました。でも、西条はちょっと降りすぎかな…

西条の冬は、カクブル(((G'D)))です。



**な♡か♡ま**

水口 麻侑子さん  
生物園科学研究科博士課程前期2年

試験が終われば飲み会、休日にはアウトドア。誕生日には手作りケーキで…。6年間、いろんなことがあって仲良くなった13人。今日、学校に行ったらなにがあるかなあ、授業が終わったらみんななにしようかなあって考えながら通学しました。一人暮らしもさみしくなかった。友達は宝物！ 「今以上の友には出会えないかも」って思うくらい最高の仲間です。



「酒まつり」でみこしも担ぎました！



**ピアノ**

村上 有佳さん 医学部3年

5歳からピアノを始め、一時は演奏家を目指したことも。でも、周りの友だちはみんなライブで、他人からも評価されるように自分の音を追求していくことに耐えられなかった私。今は、サークルでいろんな人や楽器と一緒に演奏しています。自分なりに音楽と良好な関係を保ちつつ、ピアノを通して人の輪が広がりましたね。今の私にとって、ピアノは特技であると同時に、友だちとの出会いを提供してくれるものです。



**能**  
陳 貞竹さん 社会科学研究科博士課程後期2年

出会いは台湾芸術大学での鑑賞会。そのとき、日本から来た能の先生に大変丁寧に指導していただき、興味をもつように。その後、先生のお母さんのお世話で日本へ留学。現在、その方が立ち上げた能サークルに所属。能は、演じる者の精神力や内面性が表現される「とても強い芸術」です。芸術を通して自分を成長させていきたいです。



ニッポンノコロを表現する能は国際的にも有名です。



**LOVE**

Tさん 総合科学研究科博士課程前期1年

出会いは3年前にサークルで。外見はお互い好みじゃなかったけど、根本的な部分がよく似ていて。飲み会があったときのこと。当時、私は資格試験に向けて勉強中。飲んでいる場合じゃなかったけど、楽しくて二次会も行こうとしたら彼に止められたんです。叱ってくれる人ができて、自分の長所短所がよく分かるように。



誕生日会に、お腹でケーキ食い！ “なかま”ならではの大騒ぎ。



**電子レンジ**

河口 真理子さん  
総合科学部3年

「食事に余計な手間やお金はかけない」私の価値観にぴったり合うのが電子レンジ。食費も安く、余ったお金は貯金。今や食生活のすべてを支えてくれる頼もしいヤツ。牛丼にチーズをのせた「チーズのせ牛丼」は絶品！

チン！チン！するだけじゃダメだよ。栄養のバランスもね。



**書道**

直原 健司さん 工学部3年

書道歴は15年。字は、書けば書くほどよくなる。今は、手本のない創作文字に挑戦中！ これまでの書道にはない感じを出したくて、大好きなB'zの歌のタイトルを英語で書いてみたり。一生続けていきたい自分の趣味。一つの文字にかかる集中力は、勉強にも役立ちますよ！



第52回中・四国国立大学連合美術展覧会出品

広大の達筆王！すごい迫力。誌面で伝わるかな？



**ものづくり**

増田 幸茂さん 教育学部4年

ものづくりを始めてから、楽しい時間が増えました。もともとのインテリア好きに、お酒好きが加わり、1年前自宅をバーに改造！ いろんな人が遊びに来てくれるので新たな出会いも。いつか自分のお店を持ちたいですね。

チャージ料はあいくら？ 酔いつぶれても安心だね。



民族衣装をまとった山下さん

**38度線**

山下 淑美さん 総合科学部3年

帰国後の時間こそ大切にしたい。そう決めてから、2年生のときに中国へ10カ月間留学。その間、北朝鮮に行く機会があり、韓国との国境線を見学したときのこと。案内してくれた現地のガイドさんに「ここを見ると悲しい気持ちになる。次は統一が実現してから来てね」と言われ、とても辛い気持ちになりました。留学を終えてからも「自分ができることはなにか」と自問自答の日々。私の決断は正しかった。学びたいことがさらに増えました。



マスゲームで有名な北朝鮮のアリラン祭



ロードレーサーは、僕にとってのどこでもドア

**ロードレーサー**

柳楽 真太郎さん 工学部2年

変わってるな——子どものころ、父のロードレーサーを見た感想はその程度。高2のとき、父のすすめで自分も乗るようになる。これさえあればどこにでもいけるし、そこにいる人々と出会えるのが魅力。島根の実家まで自転車帰った(笑)。現在は「トライアスロン同好会Gulls」で、自転車・水泳・マラソンの3種目に挑戦中。目標は「ツール・ド・沖縄」を完走すること！

# 学生取材班が行く

プチトリビアや時事問題、ちょっと気になる先生など、あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



## キャンパスの地面の下には…

「東広島キャンパスには地下道がある」そんな噂を聞きつけ、施設部に問い合わせると、実際に存在するとのこと。正式名は「共同溝」。本来は立ち入り禁止ですが、特別に取材許可をいただき、見学させていただきました。



担当の方に敷設当時のお話を聞かせてもらいました

キャンパス内には共同溝への入り口がいくつかあるそうで、私たちが案内されたのは、でっかい「広島大学」の文字が書かれている煙突のある建物。中には、暖房用の巨大なボイラーが

設置され、その奥に共同溝へと続く階段があります。懐中電灯のスイッチをオンにしていざ潜入。真っ暗な階段を10mほど下りていくと、空気が変わってきます。どんどん狭くなって「戻れなくなったらどうしよう」そんな不安を覚えながら噂の地下道に到着。「意外にきれいな場所なんだ」ついに見た地下道はそんな第一印象。さらに奥へ進むと、両側の壁に沿って無数のパイプが張り巡らされ、何段もあるラックには束になったケーブルが整然と収められています。これは一体なに？



階段を下りると意外に広い空間！



5,100mも続く共同溝にはライフラインが

みなさん、東広島キャンパスに、電柱や電線が一つもないことに気がついてましたか？ 実はこれ、電線や給水管、LANケーブルなど、ガス配管以外のライフラインなのです。膨大な量のライフラインが、薄暗いトンネルの奥まで真っ直ぐに伸びている様は大迫力。しかもこの共同溝の総延長は、なんと約5,100m！ 広さは、広いところで高さ4m×幅3.5m、狭いところでも2m×2mもあるのだとか。建物に分岐するところでは、幅が6m以上あるそうです。

まさに縁の下の力持ち。共同溝は、今日も快適なキャンパスライフを支えています。

※共同溝へは通常立ち入り禁止。今回は取材用に特別許可をもらいました。

取材・記事 / 総合科学部4年 中田 明香

## 大切なのは早期発見、早期治療！

11月1日に東広島キャンパスにオープンした広島大学歯科診療所。予想以上に学生に利用されているとか。さっそく、歯科診療所長の吉野宏先生と歯科衛生士の松井加奈子さんに、お話を伺いました。

🗨️ どうして東広島キャンパスに？

👤 みなさんの歯の健康を守るため。地域の方も大学病院まで足を運ばなくて済みますし。

🗨️ 診療所のサービス内容は？

👤 一般の歯医者さんと同じ。定期検診はもちろん、セカンドオピニオンを求めて来られる方も歓迎です！

🗨️ 最近の学生の「歯」の状況は？

👤 虫歯と歯肉炎が多いですね。歯槽膿漏予備軍もいっぱい。一見きれいなんだけど、実は全然イケてない(笑)。しかも、悪化してから来る人が多い。僕も、治療は得意だけど

👤 今ケアをしておいて、老後も入れ歯ではなく、自分の歯でおいしい物を食べてほしいですね。

忙しい毎日だからこそ、自分から歯の状況を知ろうとすることが大切。「早期発見、早期治療！ 目標は、学生・教職員全員の歯科検診」と優しい笑顔でおっしゃる先生が印象的でした。学生割引はありませんが、空きコマや授業後に立ち寄ることができるので便利。先生たちが気軽に相談にのってくれますよ。

取材・記事 / 法学部2年 大原 朋恵



バリアフリーの所内は清潔で明るい雰囲気です



「まずは、自分の口の中の状態を知ってください」と先生



空きコマや授業後、お気軽に！

### 広島大学 歯科診療所



#### ●診療日

月～金(休日、祝日、年末年始を除く)

#### ●診療時間

10:15～13:00(受付時間10:15～12:30)

14:00～18:45(受付時間14:00～18:00)

TEL:082-424-3907(ご予約はお電話で)

◎広島大学内郵便局の南隣

アカモク地区の地下をぐるりと一周する共同溝

# Knock on the door

## 問題を発見できれば必ず解決できる

### 大学院生物圏科学研究科 佐藤研究室訪問

#### チョコレートを変えた魔法の粉

チョコレートの研究では世界的に有名な佐藤先生。焙煎ただけのカカオ豆の試食で取材スタッフを温かく迎えてくれた後、みっちり3時間の講義を。そのエネルギーギッシュで勢いのある話ぶりに圧倒されました。



「チョコレートはココアバターでできています。この結晶の形によって表面の光沢や口溶けの良さなどが変わってくるため、技術者はココアバターの結晶化にとっても神経を使っているんです」従来はテンパリングという結晶化法が使われていましたが、ココアバターの冷却・固化に非常に時間がかかるという問題があったそうです。これを解決したのが佐藤先生たち。「5年間にわたる基礎研究で、魔法の粉を見つけたんですよ！それがBOB※。溶けたココアバターにBOBを加えると、願いどおりの結晶化が可能なることを発見したんです」その後、この技術を使って、クッキー生地チョコにしみこませたお菓子など、新しい商品がたくさん誕生したそうです。この研究は「応用につながった基礎研究」として、昨年、アメリカで表彰されました。

#### みんなもっと「俺は偉い！」って思わなきゃ

「冬は駅伝、夏はサッカーにソフトボール！夕方5時すぎからは、研究を中断してみんなでスポーツ！」と佐藤先生。学生とのコミュニケーションを大事にすることで、学生にしゃべらせるよう指導しているとのこと。先生に対しても自分の意見をしっかりと伝える「権威を恐れない強さ」を身につけてもらいたいからだそうです。「欧米の大学では、先生と学生が対等に議論できているんです。日本の学生は、ちょっと先生に遠慮しすぎ。もっと大人びて『俺は偉いんだ』って思わなくちゃ」ちなみに、学生時代は、演劇部の活動に没頭しすぎて、まともに大学に行ってなかったんだとか。でも、おかげで度胸がついたそうです。



学生が描いてくれた似顔絵。お気に入りです。

**佐藤 清隆**  
大学院生物圏科学研究科 食資源科学講座 教授

1946年生まれ。名古屋大学大学院工学研究科博士課程単位修得退学。広島大学水畜産学部(現在の生物生産学部)助手、助教を経て91年に同教授に就任。02年から現職。工学博士。専門は食品科学、固体物性。脂質の固体物性の基礎研究とチョコレートへの応用に貢献。05年アメリカ油化学会Stephan S.Chang賞を受賞。

先生のバイブルは、ノーベル化学賞受賞者のマックス・ペルーツ氏らが書いた『Cambridge Minds』という本。先生によれば、Cambridge Mindsの一つが「真実の前では権威など関係ない」ということだそうです。いずれは『広島マインド』を出版したいそうです。

#### 「到達すれば終わり」という目標はない

もうすでに研究しつくされたと思われていたチョコレートの研究。佐藤先生たちの発見がきっかけとなり、現在また新たな研究テーマが生まれています。「真理を探究する中で『到達すれば終わり』という目標はありません。この世の中に、すべてがわかってしまったことなんてないんだから。僕の好きな言葉は『問題を発見できれば必ず解決できる。なぜなら、解決能力を有する人だけが問題を発見できるから』。今は、太らないチョコレートを開発中。学生のみなさんも意気高く真理を探索し続けてください」とメッセージをいただきました。

取材・記事 / 総合科学部4年 丸一 真実

※融点の高い脂肪酸であるべヘン酸でできた油脂

#### チョコレートの誤解

ニキビや虫歯のもと、太る、鼻血が出る？実はこれ、すべて誤解です。日本人の年間チョコレート消費量は約2kg(板チョコ30枚分)。スイス人は、なんとこの約5倍、アメリカ人は約2.5倍の量を消費しています。



アメリカ油化学会Stephan S. Chang 賞のトロフィー



スプーンやフォークがたくさん! みんなのブレイクタイム用だそうです



焙煎したカカオ豆です。硬くてあんまり味がない...



## 石田 亜紀 Aki Ishida

株式会社ミキ・ツーリスト 東京本社営業本部中央ヨーロッパ担当 営業アシスタント (2002年3月 文学部卒業)

広い視野を持ったスペシャリストになりたい

### —現在の仕事内容は?

私たちの会社は、ランド・オペレーターといわれる業務を行なっています。ツアーを企画・販売してお客様を集めるのは旅行代理店。私たちはツアーを代理店から受注し、旅先のホテルやレストランの予約など各種手配を行ないます。いわば旅行の中身を作る仕事ですね。



営業アシスタントになってまだ半年。出勤して最初にする仕事は、海外の現地オフィスからメールが届くツアー中のトラブルチェックとその対応です。あとは、ツアーを受注するために代理店のエージェントさんと交渉したり、最近では私たちからツアーの提案をすることも多いですね。

トラブルがない日はないし、日程表にも出てこない細かい部分まで気を配り、常にアンテナを張っていないといけないので大変なときも…。でも、ツアーが成功して参加された方に喜んでいただいたり、エージェントさんから「すばらしい手配だった」と言われたときはやりがいを感じますね。

### —どんな広大生でしたか?

ダメ学生でした。何をしたいかわからないし、やりたいこともみつからない。時間だけがあって砂漠の中にいるみたいな感じ。仕事という場を得た今の方が充実していま

すね。4年間もあったのだから、専攻していたフランス文学を国の成り立ちや各地域の特徴といったバックグラウンドも含めてもっと勉強しておけばよかったと思います。知識があれば、手配も楽にできますし、個性的なツアーを提案できますから。

### —今後の目標は?

一生この旅行業界で働きたいと思っています。今後はもっと広い視野を持ち、経済全体の流れとからめて旅行業界の動きが読めるスペシャリストになりたいです。いつかは、ツアー企画から最後にお客様を日本にお迎えするところまで、自分でプロデュースするのが夢ですね。

### —広大生へのメッセージをお願いします。

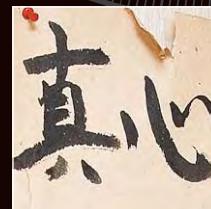
今やりたいことがなくて就職に悩んでいる人も、そこまで焦らなくていいんじゃないかな。私も、最初から旅行業界を希望していたわけではなく、サービス業で転勤がなくて…と条件から攻めていき、今の会社に就職しました。OB&OG訪問はした方がいいですよ! 学生同士の口コミ情報やイメージと、実際に働いている人の感想にはズレがあるんです。学生から見たらキラキラしている職場でも実は悲惨だったり、逆に、大変そうに見えても楽しくてやりがいのある仕事だったり。現場の人から直接話を聞くことは、かなり役に立ちますよ。



社会の第一線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身に付けておくべきことはまたまたプライベートの話まで。私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

# 羅針盤

# OB&OG紹介



### —なぜお好み焼き屋を、それも西条にオープンしたのですか?

卒業間近になってもやりたいことが見つからなくてね。フリーターになっても見つかるとは思えなくて、それなら1度社会を経験しようと思い、出版社に就職したんだ。でも、入社1年目で足を骨折。仕事に支障は出るし、家にもストレスが溜まるばかり。そのとき、



休日に好きなことをやってきた自分は「仕事は生活のため」と割り切っていることに気がついた。それなら人生の大半を占める仕事で、やりたいことをしようと思って、頭に浮かんだのがお好み焼き屋。こんなにバシッと決断できたのは珍しいよ。実家の愛知に出店する案もあったけど、学生時代の友だちの存在が大きかった。個性は強いけれど、お互いの長所を伸ばし合える仲間。卒業後も集まれる場所を作りたくて、西条に決めたんだった。

### —サラリーマン時代と比べて、なにか変わりましたか?

当時は、これは正しいと思うことで上司がだめと言ったら従わないといけない。自分ではどうにもならないことがあった。今は、自由にできるから人間関係で悩む必要がなくなった。でも、その分すべて自分に返ってくる。自営業だと素直に自分の心と向き合えるから、仕事を通して本当の自分が分かってきたね。

### —お店のポリシーを教えてください!



人と人がつながる空間にしたい。ご飯を食べるだけの場所はたくさんあるから、自分にしかできないことをしたい。社会人になると、全然違う分野の人との人間関係が広がりにくいと思う。この店で新たな出会いを提供できたら嬉しいな。ここに来るお客さんには「人が好きな人」という共通点がある。きっかけを作ると、見知らぬお客さん同士が楽しそうにおしゃべりを始める。それを見るのが最高に楽しいね。ポリシーは3つ! いつも穏やか、余裕を持つ、どんな状況

でも積極的に楽しむ。悟りの境地みたいな感じでいれたらいいな。世の中の人の営みが透き通って見えるような。

### —お店をやってよかったなと思うことは?

開店1周年のときに、お客さんたちがお祝いのメッセージを撮影したビデオをプレゼントしてくれたんです。自分がいないところでみんなが集まって、一緒にお祝いしてくれた。ここを大切な場所だと思って集まってきていることを実感し、本当にやって良かったなって思ったよ。



## 野々川 仁 Hitoshi Nonogawa

お好み焼き屋「真心タイムズ」経営 (2003年12月1日開店) 住所: 東広島市西条町西条東909-5 TEL: 082-422-5505 (2002年3月 総合科学部卒業)

みんなが集まれる空間を。人生で後悔したことは一度もない。

## 取材を終えて



「日々の仕事が充実していて楽しい!」と生き生きと話される表情が魅力的だった石田先輩。落ち着いていてやわらかい口調ながらも、仕事に対する熱意が感じられました。英会話を習ったり登山をしたりプライベートも楽しんでおられるとのこと。自分の役割をこなすことにやりがいを感じておられる先輩にお会いし、社会人として働くことに、よりプラスなイメージを持つことができました。

取材・記事 / 総合科学研究科M1年 夫津木 芳美



野々川さんはすごく人が好きな人。仕事を楽しんで仕方ないという熱い気持ちが伝わってきました。「思ったらすぐ行動。今まで、ただ考えるだけじゃなくて、好きなことをなんでもやってきているから、人生を振り返っても後悔したことってないんですよ」と言い切っていた仁さんはかっこよかったですね。取材後に食べさせてもらったお好み焼きも、とても美味しかったです。

取材・記事 / 総合科学部3年 河口 真理子



## 日本で実感した「幸せ」

—この国での経験を多くの人に伝えたい—

ラットナーヤカ ムディヤンセラージェー サンディア プリヤダルシャニー  
Rathanayaka Mudiyansele Sandya Priyadarshani  
国際協力研究科博士課程前期1年 (スリランカ出身)

### 日本での最初の挫折。そして…

「桜の花」「お人形のようなかわいい女の子がいる国」これが、テレビや新聞などで得た子どものときの日本に対するイメージです。小さな頃から「いつかは日本に行ってみよう」という夢を持ち続けていました。そして、私はその夢をかなえるために、スリランカの大学で日本語を専門に学ぶ道を選んだのです。大学で日本語を勉強するうちに、スリランカのシンハラ語と文法的にかなり似ていることを実感し、ますます日本語に対する興味が高まってきました。「もっと深く日本語を研究して、いつかは日本語の先生になりたい」と思うようになり、日本に留学を決意。実際に来日したのは2004年のことです。

最初に入学したのは新潟大学。でも、新潟大学には私の学びたかった「日本語教育」の専攻がありませんでした。人生で初めての重大失敗です。言葉もうまく話せないし、他の学校に入り直すのは経済的に

大変難しい状況。当時は、もう立ち直れないほど落ち込み、すべてをあきらめて国へ帰ろうかとも思いました。そんな私にやり直すきっかけと勇気を与えてくれたのが、新潟大学の留学生センターで出会った足立裕子先生の一言。「夢は願い続けられかなうもの。あきらめずに頑張らなさい」というメッセージは私の心に深く響きました。そして、私の悩みや幸せをまるで自分のことのように考えてくれる友人たち。

現在、私は広島大学の国際協力研究科に在籍し、日本語教育について研究することができています。彼らがいなければ、今日の私は存在していないと思っています。

### 「家族より仕事第一」の日本人にびっくり

日本に来てショックを受けたのは「仕事」が優先で、お正月も家族と一緒に過ごせない親。「休みの日でも会社へ行く親」を持つ子どもたちが、この国には大勢いるということ。スリランカの親たちは、必要など

きにいつでも子どもの近くにいる、必ず力になってくれます。私の生まれた国の子どもたちは、とても幸せだと強く感じました。また、親に向かって「うるさい」「馬鹿」などの言葉を平気で使える子どもたちを見て、心の底から驚きました。スリランカでは、自分を生み、育ててくれた親を尊敬しない子どもはいません。それは「親を尊敬しない子どもは地獄に落ちる」「一生幸せになれない」と幼い頃から教えられているからです。このとき初めて、スリランカ人に生まれてよかった…と実感し、自国の文化に誇りを感じるようになりました。

逆に、日本で素敵だと感じたことも数多くあります。その一つが日本の上司。会社では命令しかできないスリランカ人の彼らに比べ、命令するだけではなく、部下と同じように真面目に働いている日本の上司たちを見たときには、うらやましく思いましたね。

### 私ほど幸せな人間は、他にはいない

「失敗は成功への道である」「不幸とは、幸せとはどういうことか」この国に留学し、いろいろ経験しなければ実感できなかったことかもしれません。私は今、こうして勉強できる幸せを実感しています。今後もこのチャンスを大事にして、博士号をとるまで頑張りたいと思っています。

将来は、母国で日本語の教師になり、言葉を教えるだけではなく、私の日本での経験についても伝えていきたいです。(原文/日本語)



宮島・厳島神社の前で記念撮影。間近で見る世界遺産は、とても感動的でした



「御建神社祇園まつり」でみこしを担ぎました(筆者中央)



モンゴルと日本の友人と一緒に(筆者左端)

## プロフィール

スリランカのコロネ出身。ケラニヤ大学卒業後、2004年4月に新潟大学に入学し、05年4月に広島大学教育学研究科へ研究生として入学。現在は、国際協力研究科博士課程前期に在籍。教育文化を専攻し「外国語として日本語を学ぶスリランカ人学習者の授受表現の習得」について研究中。将来の夢は、スリランカで日本語の教師になること。

# 体感地球

わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生&“広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」…留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



## 人との関わりで自分が成長し、挑戦することを学んだ留学生活。

—将来は自分がホストファミリーとなり、愛情を持って人と接していきたい—

片坐 誠一郎 Seiichiro Kataza  
工学研究科博士課程前期1年

### 不安だらけの海外暮らし。ホストマザーの一言で気持ちが楽に

「外の世界を見てみたい、外の世界から日本を見てみたい」そんな漠然とした思いだけでスタートした留学生活。特にイギリスでやりたいことがあったわけではないし、言葉も思うように通じない。もともと他人と話すのが苦手な自分には、初めのうちは正直、異文化交流がつかずでした。最初の2カ月間は本当に苦しくて、無気力に過ごす時間が多くなっていました。そんなとき、ホストマザーがかけてくれた言葉「Be yourself, Sei is Sei, end of story」(あなたはあなたのままでいい。ただそれだけ)。普通の言葉だけれど、現地の習慣や考え方に合わせようと無理をしていた自分には、すごく的を射たフレーズで、その一言がすべての焦りや不安を取り除いてくれました。

### すべての人から自然にでてくる「Thank you」という言葉

本当の意味での「外の世界を見る」、現地の文化や習慣、人々に

触れるためには、現地の人とたくさん話をするしかないと思いました。だから、あまり旅行にも行かず、じっくりその土地の文化や人に接することに全力を注ぎました。平日は、学校から帰ったらホストマザーとワインを飲みながら談笑し、息子さんとはサッカーをして遊びました。休日は、PUBで人に話しかけて一緒に飲んだり、テニスコートで見知らぬ人に試合を申し込んだり、さまざまな人と交流をするように心がけましたね。また、月に一回はホストマザーにお願いしてパーティーを開いてもらい、知り合った人たちを招いて、回を重ねるごとに仲良くなって…という生活の繰り返しでした。

出会った人はみんな、日本の歴史・文化・政治・経済・テクノロジーなどに興味をもっていました。残念なのは、自分が日本で生活していた範囲内でしか話ることができなかったこと。日本という国を十分に伝えることができず、何度も後悔しました。



クリスマスツリーに彩られたビッグベン。やわらかなライトアップがロマンティック



セブンシスターズのビーチ。青い海と真っ白な岩壁のコントラストが美しい

印象深かったのは、すべての人から自然にでてくる「Thank you」という言葉です。どんな些細なことに対しても見知らぬ人から感謝され、なぜか心がhappyに。自分も最初は意識して言うようにしていましたが、今では普通に出てきます。言う方も言われる方も気持ちがよくなる一言。そんな自然な言葉のやりとりが、とても心に残りました。

### 将来は、自分がホストファミリーに

主体的に動かないと、なにも始まらない留学。できるかできないかではなく、やるかやらないかの環境に自分を1年間浸したことで、どんな局面でも選択肢を幅広く考えて、挑戦できるようになったと思います。チャレンジする中で「どうにかしてやってやる」という気持ちが生まれ、それを行動に移す自信ができました。

留学する前は、わずかな期間で現地の人々と信頼関係を築くこと

は難しいと考えていました。しかし、留学先の文化や人にじっくりと接することで、本当の家族のように温かく包み込んでくれる人に出会うことができ、無理だと思っていた信頼関係も生まれました。将来は、自分がホストファミリーになって留学生を受け入れ、今度こそ日本という国をしっかり分かってもらいたい。自分が受けてきたように、愛情を持っている人々と接していきたいと考えています。



パーティーでのワンショット



イギリスの典型的な田舎の家

## プロフィール

2006年3月から約半年間イギリスのブライトンでホームステイをし、残り半年はロンドン・メトロポリタン大学でビジネスのDiplomaコースを受講。英語での会話にまったく自信がなかったが、苦手だった「人」との会話も自然に楽しめるようになった。渡英前はTOEIC700点、渡英後は850点に大幅Up! 将来の夢は、いろいろな人と関わって生きていくこと。

【使用言語】英語

【費用】渡航費:15万、授業料+滞費=255万



# 学生取材班が行く 特別編

標高500mの山頂に、06年5月に完成した広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台。国内に設置されている望遠鏡としては、3番目の規模を誇ります。さっそく取材してきました!



曲がりくねった山道を車で登っていくと、とつぜん銀色に輝くドーム屋根の建物が! 天文台はドーム棟と制御棟からなり、周辺は東広島市が天文台広場として整備しています。

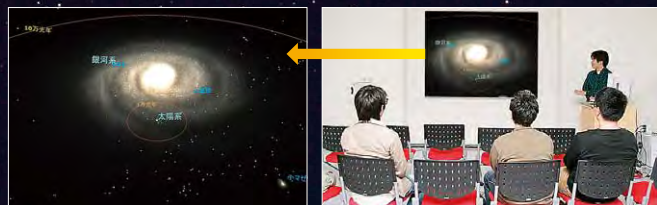
広島大学宇宙科学センターの植村誠先生に案内してもらいました。



## 3D映像で宇宙の旅へ



まずは、セミナー室で宇宙構造の勉強からスタート。入り口で特殊な眼鏡を受け取り、スクリーンに映し出される宇宙の立体映像を見ていると、まさに宇宙旅行気分! 地球を飛び立ち、太陽系、銀河系も超えて、超銀河団といった大規模構造まで、現在の観測結果から知りえた宇宙の姿をわかりやすく教えてもらいました。



copyright© 4D2U Project, NAOJ

国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクトが開発したフリーソフトウェア Mitakaの映像。プロジェクトのHPからダウンロードできます。詳細はHP参照。

<http://4d2u.nao.ac.jp/html/program/mitaka/>



## 世界一の機動性! 愛称は「かなた望遠鏡」

いよいよ観測ドームへ。ドームの直径は10m、高さは14mもあり、目の前には青と緑の廣大カラーに塗られた口径1.5mの光学赤外線望遠鏡がありました。国内最大級とあってかなりの大きさです! 先生がパソコンを操作すると、ウィーンと音を立てて望遠鏡とドーム屋根が滑るように動き出します。「みなさんが思ったより動きが早いでしょ。機動性は世界一です」と植村先生。東広島天文台は、ガンマ線バースト※など、突発的に起こる現象の観測に特化し、この機動性を生かして、確実に見逃すことなく、観測した情報を世界に発信するのが目標だそうです。



「かなた」という愛称は一般公募で決定。1333通もの応募がありました

ちなみに、1.5mというのは主鏡の直径。集光力はなんと肉眼の約6万倍! 21等星(人間は6等星)まで観測できるとのことです。

※多量のガンマ線が、短時間に爆発的に放射される謎の現象



アルビレオという金色に輝く2重星を見せてもらいました! この星は、地球から385光年も離れているんだとか。肉眼では見ることのできない星の世界に、すっかり魅了された私たち



## 植村先生

夜間の観測のため、普段は朝6時に寝て昼1時に起きるという昼夜逆転の生活だとか。「夜間ずっと一人で観測していて、寂しくなったり辛くなったりしませんか?」という質問に「これが仕事ですし、研究は楽しいですから!」ときっぱり。研究テーマはブラックホールだそうです。



## ワンポイントアドバイス

### 「星の上手な楽しみ方」

気軽にいろいろな星を楽しみたいなら、望遠鏡より双眼鏡! 視野が広いから観察が容易ですよ。より詳しく観察したいときは、望遠鏡がオススメ。

### 「天文台の見学について」

天文台を見学したい場合、相談に応じます。ただし、申し込みは20名以上のグループで、あくまで勉強目的の方に限ります。



## ご注意

- 東広島天文台広場  
開場時間…9:00~17:30
- 東広島天文台は教育研究施設のため、原則として関係者以外の方は建物の中に入ることができません。詳しくは、広島大学宇宙科学センターのHP参照。

HP…<http://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/>  
TEL…082-424-3468



広島大学東広島天文台 (東広島天文台広場)



## 広大トリビア

おまけ

教育学部の屋上には、50cm望遠鏡を持つ第二天文台があります!



## 取材を終えて

初めて入った天文台は、子供の頃に夢見ていた秘密基地のよう。植村先生の話聞き「私も天文学をやりたい!」と思うほど、宇宙の神秘に魅了されている自分がありました。外に出てみると、周りにはもう真っ暗。闇に浮かぶ西条の街の明かりは、まるで宇宙に浮かぶ星明かりのよう。でも、街の夜景もきれいだけれど、望遠鏡で見た星はもっと美しく見えました。みなさんもたまには夜空に輝く星を眺めてみてはいかがでしょうか?

取材・記事/工学部4年 宮田 浩紀

## 広島大学短期交換留学プログラム (HUSA) チューター

世界18カ国の協定大学から、毎年約50人の留学生が広島大学短期交換留学プログラム(以下HUSA)を利用して、広島大学にやって来ます。私たちチューターは、空港への出迎えから市役所・郵便局での手続き、日本語の学習や日常生活のサポートなど、日本での生活全般をバックアップしています。

彼らの日本に対する知識の豊富さには、いつも驚かされます。例えば、新渡戸稲造著の「武士道」を語る留学生がいたり、黒澤明監督の作品「七人の侍」をよく知る留学生なども。日本の文化について、逆に留学生から教えられることが多々ありますね。



みんなで宮島へ行ってきました。鳥居をバックに記念撮影

私たちは、留学生とチューターがそれぞれの国の郷土料理を作って持ち寄るPot Luck(ポットラック)というパーティーを開催しています。韓国料理やタイ料理、チューターも鍋やおでんなどを作るんです。みんなで各国の料理を食べながら、楽しいおしゃべりをして親交を深めています。

こうした交流を通して、私たちはお互いの文化や歴史を理解することができるのではないのでしょうか。彼らが母国に帰国した後もメールや電話で交流を続けています。長期休暇を利用して遊びに行ったり、ホームステイ先で再会できたときには、とても感動しました。懐かしい出来事や友達の話で盛り上がり、仲良くなった留学生の結婚式に参列したり、現地の人が知らない穴場の観光地に連れていってもらったりなど、貴重な体験もできました。

チューターを経験した多くの学生が、HUSAを利用して在学中に留学をしているんですよ。そのときに頼りになるのが、現地の大学に通っている元留学生。広島大学で交流し、友達になっているので、今度は彼らが生活の手助けしてくれます。



西条の「酒まつり」にて。一緒にお酒を飲んで友情もますます深まる?

HUSAに興味を持った方は、ホームページを訪れてみてください。世界中の留学生が、あなたを待っています。

(記事/HUSAチューター・理学部4年 大浜 晶生)

**HUSA HP** <http://home.hiroshima-u.ac.jp/husa/nihongo/>

# 発見! 元気人

ガンバル広大生の  
PRページ。  
みんなで応援しよう!

## futsal no.1 決定戦 実行委員会

「ピッポーッ!」試合終了を告げるホイッスルが鳴った瞬間、コートには歓喜の輪が広がります。ベンチから飛び出してきた選手やマネージャー、応援に来てくれた友達、みんなの顔にあふれる笑顔。会場からは自然と拍手がわき起こります。大会期間中、何度も目にした微笑ましい光景です。

はじめまして「futsal no.1 決定戦 実行委員会」です。大学内のいくつかのサークルが主体となり、フットサル大会「futsal no.1 決定戦」を主催しています。私たちは年に2回、春と秋の大会開催に合わせて、ホームページやポスターの作成、会場

準備や協賛企業との打ち合わせなど、企画から運営までを行っています。

みなさん「フットサル」ってどんなスポーツが知っていますか? 基本的なルールはサッカーと一緒に。ただし、スライディングやタックルは禁止。ハンドボールと同じゴールを使い、バスケットボールよりも少し大きめのコートに、選手は各チーム5人ずつ。経験や年齢、性別に関係なく、ボールを蹴って楽しめるスポーツです。仲間さえ集まれば、気軽にチームを組めることから、全国的にも今、人気上昇中。

過去2回開催した「futsal no.1 決定戦」には、個性豊かなチームがたくさん参加しています。サークルや学科の友達、バイト仲間はもちろん「留学生とその先生」なんてチームもあれば「小学生とその保護者」という学外チームも。本



ゴール直後の選手。みんなが駆け寄って喜び合います

当にたくさんの人達が大会を楽しんでいます。



表彰式の様子。学内外からたくさんのチームが参加してくれました



ゴールのチャンス! 両者に緊張が走ります

印象的だったのは、試合に負けたあるチームの方が笑顔で言ってくれた「ありがとう。こんなに悔しいのは久しぶりだ」という言葉。うまいへたは関係ないのだろうと思います。普段の生活の中ではなかなか感じるできない喜怒哀楽、その気持ちを気の合う仲間と共有できる…これがフットサルの一番の醍醐味ではないのでしょうか。みなさんも決定戦に参加してみませんか? そして、仲間と一緒に目指してください! 「futsal no.1」の座を!!

(記事/futsal no.1 決定戦 実行委員会・工学研究科M2年 安東 佑剛)

**futsal no.1 決定戦 実行委員会HP**  
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/futsalno1/>

# Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

## 広大生よ、フロントランナーになろう!

現代GPプログラム「学生提案型キャリア形成システム基盤構築  
—挑戦し、行動する人材育成の実現を目指して—」

キャリアセンター助教授 森 玲子

2007年4月から、学生のみなさんが主体的・提案型取り組みを考え、計画・実行する「フロントランナープログラム」を開始します。このプログラムは、本学がすすめる「挑戦し、行動する人材育成」に、キャリア教育の視点から取り組む教育プログラムであり、皆さんが持つ素質や能力を最大限引き出し、自らのキャリアデザインの実現に導きます。4月から、みなさんの興味・関心に応じた取り組みを募集し、助言者(メンター)の指導やホームページの活用等、みなさんの計画・実行を積極的に支援していきます。詳細は、後日ともみじ等でお知らせします。

対象 広大生で、2学部以上に所属する数人で構成されたチーム

- 募集テーマ
- ① 広島大学を元気にする提案(学生支援サービスの改善、広大グッズの企画・販売促進アイデア等)
  - ② 広島・西条を活性化させる提案(酒蔵通りの活性化、地元企業でのインターンシップ等)
  - ③ 広島大学から世界へアピールする提案(平和教育の実践等)
  - ④ その他

支援内容

- ① 必要に応じ、助言者(メンター)から助言を受けることができます。
- ② 活動費を支給します。(選考あり)

## ●フロントランナープログラム開始に先立ち…

### 【学生の自主活動事例報告会】

全国5大学で行われている学生の自主活動の事例報告会を開催します。本学も学生スタッフが報告します。ぜひ、ご参加ください。

日時：3月19日(月)午後 場所：中央図書館ライブラリーホール

※詳細は、後日ともみじでお知らせします。

【問い合わせ先】 電話…082-424-6987

E-mail…career-group@office.hiroshima-u.ac.jp

現代GPのホームページ…http://www.careergp.hiroshima-u.ac.jp(近日中にup予定)

## サタケスクエアにカフェができます!

牟田学長の提案により、2007年5月、サタケスクエアにカフェができます! このカフェは、学生・教職員が集う「知的にぎわい」(自由でアカデミックな雰囲気を持つ大学ならではの文化的な活動空間)の創出を目的としています。

【概要】 規模：ホール 約200㎡ 100席程度  
テラス 約50㎡ 16席程度  
厨房等 約58㎡

建設スケジュール：建設工事 06年12月中旬～07年4月下旬

オープン 07年5月上旬予定

整備財源：目的積立金 管理運営：学生総合支援センター

## 「ゆとりある勉学と教育研究」

広島大学長 牟田 泰三

午前中の授業が終わって、学生諸君が、限られたお昼休み時間に昼食を取るために、キャンパス内の食堂で長蛇の列をなしているのを見かけます。特に、雨の日や雪の日などに食堂の外で列をなしているのを見ると、可哀想で、何とか改善策を講じなければならないと思っています。慌

ただしい食事をしていては、学習に集中できないと思います。学生諸君が、ゆとりを持って食事ができる環境を作ってあげたいのです。

また、学生諸君が自学自習をするための場も必ずしも十分とは言えません。授業などの合間にちょっと休憩して談笑したり、自習したりするために使える空間を整備する必要があります。

このような観点から、各キャンパスにカフェを作りたいと思っています。その先ず手始めとして、東広島キャンパスのサタケスクエア(図書館本館前広場)に、来年5月完工を目指してカフェを建設することになりました。カフェには、余裕のあるスペースを確保し、出来るだけ多くの座席を用意したいと思っています。ここでは、美味しいソフランやコーヒーを楽しめるよう、検討を進めています。このカフェ建設のための資金としては、目的積立金(注)を充てる予定です。

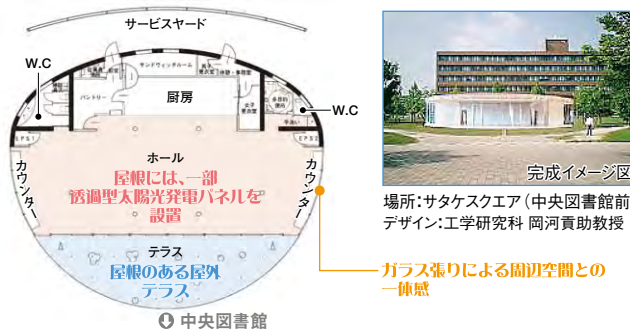
学習だけでなく、教育や研究にもゆとりが必要です。ゆとりのある生活と対話の中から、すぐれた独創的研究や豊かな教育が生まれます。

(中略)

新しいカフェを起点として、広島大学の学生と教職員の皆さんが、より一層、学習、教育、研究、支援活動に専心できるようになり、更なる飛躍を遂げられるよう願っています。

(注)「目的積立金」とは、国立大学法人が経営努力によって剰余金を生み出し、それを翌事業年度に繰り越し、文部科学大臣に承認されて、適切な目的のために積み立てる資金のことです。本学では、教育研究環境の整備をその目的として「教育研究環境整備積立金」と呼んでいます。

(ムタ・メールマガジンNo.131より抜粋)



完成イメージ  
場所：サタケスクエア(中央図書館前)  
デザイン：工学研究科 岡河 助教授

ガラス張りによる開放空間との一体感

## 広島大学総合博物館がオープン!

11月1日(水)、東広島キャンパスに広島大学総合博物館本館がオープンしました。展示のテーマは「環境と人間との共生」。キャンパスの自然から地球規模の環境変化・生命の進化まで、500点を超える学術資料や標本を展示しています。

開館日：火～土曜日(祝日、年末年始を除く)

開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで) ※入館無料

電話：082-424-4212

E-mail：museum@hiroshima-u.ac.jp



総合博物館本館(教育学部の南隣)  
厳島神社社殿の復元模型 日野化石コレクション 干潟のジオラマ

総合博物館のホームページ

http://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/

## 9年連続総合優勝! 第57回中国五大学学生競技大会

11月に山口県で開催された第57回中国五大学学生競技大会の冬季大会で、広島大学が1位に輝きました。夏季大会、冬季大会を合わせた総合成績でも9年連続の優勝を達成。今後も記録の更新が期待できそうです。

### ●広島大学の成績(冬季大会)

競技種目	順位			
庭球	男子	雨天中止	女子	2位
サッカー	2位			
ラグビー	2位			
バスケットボール	男子	1位	女子	1位
柔道	男子	3位	女子	2位
剣道	男子	1位	女子	1位
アーチェリー	男子	3位	女子	4位
ハンドボール	1位			



## 「全日本けん玉道もしかめ選手権」で第2位! —「DAMAけん」—

けん玉サークル「DAMAけん」の八汐憲泰さん(工学部3年)が、11月12日(日)に開催された「全日本けん玉道もしかめ\*選手権」で、全国第2位になりました。記録は、なんと6時間39分54秒! 八汐さんは「目標は世界大会に出場すること! いろんな人にけん玉を広げていきたい」と抱負を語ってくれました。

※「もしかめ」は、玉を大皿と小皿に交互に乗せる技。これを繰り返しその時間を競う



## アジアマスターズ陸上 in インドで銀メダル獲得!

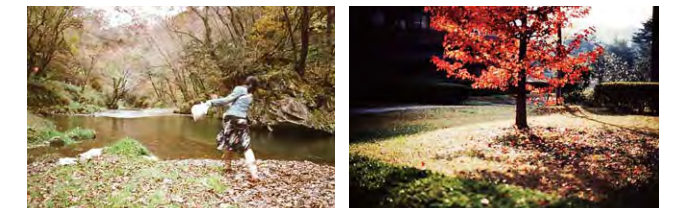
天野孝三さん(教育学研究科博士課程後期3年)が、11月15日(水)にインドで開催されたアジアマスターズ陸上の5,000メートル競歩(80才-84才)に出場し、銀メダルを獲得しました。記録は36分3秒07。自らが持つ日本記録を3秒更新されました。「優勝を狙っていたので悔しい。来年イタリアで行われる競歩の世界大会では優勝を狙う」と気合十分に抱負を語ってくれました。天野さんは、平日は一日おきに5千メートル、日曜日には20キロのウォーキングを欠かさないそうです。



「競歩は健康にいいです! 適度な運動量なので幼児や中年の方にも最適ですよ」

## 「富士フォトサロン新人賞2006」受賞

渡邊克晃さん(理学研究科博士課程後期3年)のポートフォリオ『Tranquil Lament/Cosmos Blue November』が、「富士フォトサロン新人賞2006」を受賞しました。渡邊さんの応募作品は、キャンパス風景や友人を撮った写真。何気ない日常生活の一瞬を表現した写真が高い評価を受けました。



「これまでに撮りためたお気に入りの写真を「記念に」と思い、応募しました。新人賞をいただけて感謝です」

富士フォトサロンのホームページ

http://www.fujifilm.co.jp/photosalon/

## 92チーム、660人が参加! —第44回フェニックス駅伝—

広島大学体育会主催の第44回フェニックス駅伝が12月10日(日)に開催され、一般の部と女子の部を合わせて92チーム、約660人が参加しました。一般の部は約40km、女子の部は約11kmの東広島キャンパス周辺コースを襷(たすき)でつなぎました。



上位チームは下記のとおりです。

一般の部	女子の部
1位 菊川カラオケクラブ	1位 広島市スーパースターズ
2位 UGRC	2位 緑翠女子A
3位 トライアスロンガルズA	3位 C.E.

## 第4代「豊潮丸」竣工!

4代目となる生物生産学部の附属練習船「豊潮丸(とよしおまる)」が完成し、12月1日(金)、呉市にある練習船基地で竣工記念式典を開催しました。牟田学長や郷船長らがテープカットを行い完成を祝いました。

祝賀会では、生物生産学部の卒業生でもある、サクスペレーターの坂田明さんが、自ら作曲した「豊潮丸」(アルバム「海/LA MER」収録曲)を披露しました。「豊潮丸」は、中国・四国・近畿地方では、国立大学法人が所有する唯一の水産系練習船です。



総トン数256トン、全長40.5m。推進システムは全旋回式縦軸型推進機による電気推進

**INUヘンリーフォング賞を受賞!**



重松恵梨さん(文学部3年)が、11月13日(月)に「INUヘンリーフォング賞」(The Henry Fong Award)を受賞しました。この賞は、06年8月4日～9日に、本学とINU(国際大学ネットワーク)が主催したINU学生セミナーに参加し、Global Citizenshipに関するエッセイを提出した学生の中から、1名に与えられます。重松さんは、受賞第1号。賞金として、1学期間INU加盟大学のいずれかで勉強するための学費・往復航空運賃・生活費が授与されます。

INUのホームページ <http://www.inunis.net/> INU学生セミナーは毎年8月に広島で開催予定です。

**NHK大学生ビデオゼミナールで最優秀作品賞を受賞!**

12月10日(日)に開催された、第2回NHK大学生ビデオゼミナール(主催:NHK広島放送局、協力:広島大学ほか)作品発表会で、広島の隠れた名産品「ふりかけ」にスポットを当て、その歴史や文化を探ったドキュメンタリー作品『一瞬の手品から、100年の思いへ』が、最優秀作品賞を受賞しました。受賞したのは、教育学部3年の青木理恵さん、小原由子さん、田岡利紗さんのグループ。約5カ月間、NHKのプロデューサーやカメラマンなどから番組制作のノウハウを学び、自主制作した5分間の作品を披露しました。



**PRコーナー**

**映画「蟻の兵隊」上映会のご案内**



僕たち「蟻の兵隊」上映会は、この映画を通して、一人でも多くの人に戦争を身近に考える“キッカケ”を持ってもらえたら嬉しいな、と思って活動しています!

(ストーリー) 第2次世界大戦後も中国に残留し、中国の内戦を戦った日本兵。長い抑留生活を経て帰国した彼らを待っていたのは逃亡兵の扱いだった…。戦争の被害者でもあり加害者でもある元日本兵 奥村和一さんが“日本軍山西省残留問題”の真相を解明しようとする姿を追ったドキュメンタリー映画です。

**日時:** 1月26(金)、27日(土) 13:00開場 13:30上映開始  
※映画終了後、池谷薫監督、奥村和一さんを招いた講演会を予定しています。  
**場所:** サタケメモリアルホール  
**チケット:** (前売り) 大学生500円、一般1,000円 (当日) 大学生800円、一般1,300円(高校生以下は無料)  
※前売り券は、生協、フタバ図書などで販売予定。当日券は、会場入口で販売します。

【問い合わせ先】 広島大学「蟻の兵隊」上映会 [hiro\\_on\\_fire@yahoo.co.jp](mailto:hiro_on_fire@yahoo.co.jp)

**2007年1月～4月までの主なスケジュール**

1月	1.9～	授業開始
	1.26	日本学生支援機構 大学院第一種奨学金 返還免除候補者申請書類提出締め切り
	1.29～2.9	学期末試験
2月	2月上旬	特定プログラム登録申請(学部1年生)*
	2.1～	前期分「授業料免除申請のしおり」配布 学生総合支援センター経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
	2.1～	前期分授業料免除申請受付* 3月2日以降は、学部等を指定して申請受付を行います。詳しくは「授業料免除申請のしおり」で確認してください。
	2.10	TOEIC®IPテスト
	2.12～2.21	補講期間*
	2.12～4.8	学年末休業、春季休業
3月	3月下旬	日本学生支援機構奨学金案内の配布 学生総合支援センター経済支援グループおよび各学部・研究科の学生支援グループで配布します。
	3月下旬	特定プログラム登録決定*
	3.23	学位記授与式
	3.26～27	給付奨学金(地方育英会・財団等)の事前申請書類受付(在学生)
4月	4.3	入学式
	4.3～	健康診断*
	4.3～4.24(予定)	履修手続*
	4.4～4.6	交通安全講習会
	4.9	給付奨学金(地方育英会・財団等)の事前申請書類受付(新入生)
	4.9～	日本学生支援機構奨学金出願受付*(学部2年生以上)
	4.9	前期開始
	4月中旬～	オリエンテーションキャンプ*
	4.19～	日本学生支援機構奨学金出願受付*(大学院生)
	4.27	授業料振り込み 締め切り

**注意** ※印のあるものは、学部・研究科等によって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板等で確認してください。

**卒業後に「HU-style」の定期購読を希望される方へ**

卒業しても「HU-style」を読みたい! という方には無料で送ります。

- ①名前 ②学部・研究科 ③学生番号 ④送付先(住所) ⑤連絡先(電話番号/メールアドレス)
- を明記して、メールまたはFaxでお申し込みください。

**HU-style スタッフ募集!**

「HU-style」学生広報スタッフ募集中! 企画から、取材、原稿執筆、写真撮影etc.知りたいこと、広大生に伝えたいことを私たちと一緒に形にしませんか?

**申し込み先・問い合わせ先**

広島大学情報化推進部広報グループ「HU-style」編集担当  
Tel : 082-424-6017 Fax : 082-424-6040  
E-mail : [koho@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koho@office.hiroshima-u.ac.jp)

HU-styleのホームページ <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html> 大学紹介 広報誌 HU-style



**COVER 人 第8号**

「お正月にレトロな着物っておもしろい!」というスタッフの一言で決まった今回の表紙企画。華奢で上品な印象の彼女には、朱柄の着物を着てもらい真っ白な壁の前で撮影しました。

齋藤 翠さん  
●教育学部3年  
●RCCアナウンス教室で勉強中

**本人コメント**

「今できることに挑戦したい」と思い応募しました。着物なので、背筋をピンッと伸ばした姿勢を維持するのが大変でしたが、気持ちも引き締め楽しく撮影できました。自分が選ばれるとは思っていませんでしたので本当にびっくり。2007年は大学で過ごす最後の年。周りにいる人たちの時間を大切に、笑顔で過ごしたいです。

**表紙モデル募集**

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど...という方は、気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

**CONTENTS**

- 01 あの人に会いたい
  - 01 増野 彰
- 03 あなたの「であい」教えてください。
  - 03 増野 彰
- 07 学生取材班が行く
  - 07 キャンパスの地面の下には...
  - 07 大切なのは早期発見、早期治療!
- 08 Knock on the door
  - 08 大学院生物園科学研究所 佐藤研究室訪問
- 09 羅針盤 OB&OG紹介
  - 09 石田 亜紀
  - 09 野々川 仁
- 11 体感地球 わたしの世界見聞録
  - 11 ラットナーヤカ ムディヤンセラゲー
  - 11 サンディア フリヤダルジャーニ
  - 11 片坐 誠一郎
- 13 学生取材班が行く「特別編」
  - 13 宇宙の神秘を探る「東広島天文台」
- 14 発見! 元気人
  - 14 ガンバル広大生のPRページ みんなで応援しよう!
  - 14 広島大学 短期交換留学プログラム(HUSA) チューター
  - 14 futsal no.1 決定戦 実行委員会
- 15 Hi! Hirodai Information
  - 15 各種お知らせ
  - 15 COVER 人
  - 15 編集部からのお知らせ

**編集部からのお知らせ**

**HU-style編集基本方針**

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしていこうと、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめ様々な人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
- 本学に関する情報の伝達と周知

**投稿募集**

- ①掲載された記事へのご意見、ご感想  
1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上で匿名もOKです。
- ②情報の提供、「HU-style」への提言  
取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。  
※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

**学生広報スタッフ募集!**

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

**定期購読のお申し込み**

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

**本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます**

**個人情報保護について**

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

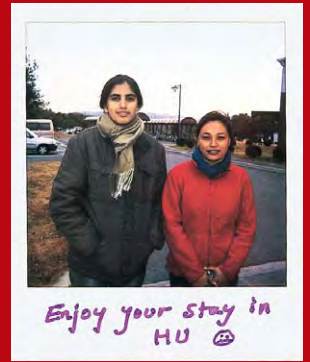
**お問い合わせ・お申し込み**

広島大学情報化推進部広報グループ「HU-style」編集担当 (連絡先は下記参照)

**編集後記**  
広報という仕事をしていると、いろんな人と巡り会います。取材先での出会い、取材を受ける立場での出会い、たった一回きりの出会いかもしれないけど、心がけていることは、誰に対しても「誠実に」「聞き上手に」対応すること。  
編集スケジュールに余裕がなくなりつつあった12月のある日、校了日の相談に来た相棒に「この調子じゃ、クリスマスイブも仕事じゃね」ムツとする部下。ひどい上司と仕事に出会ったもんだと思ったかどうか...若い相棒には誠実すぎた一言でした。みなさん楽しい出会いを。(なお)

HU-style 2007年1月号 Vol.8 (季刊)  
編集・発行 広島大学情報化推進部広報グループ  
住所 〒739-8511 広島県市鏡山一丁目3番2号  
電話 082-424-6017  
F a x 082-424-6040  
E-mail [koho@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koho@office.hiroshima-u.ac.jp)  
制作 有限会社トゥービー  
印刷 中本総合印刷株式会社

※次号は4月1日発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)



キャンパスを歩く人たちを Snap Snap! 《今年やると決めている事編》

